



# ウェーブスコヤ

## タイプ25R・30R

### ウェーブ面ケガキ作業もイージー&スピーディー時代

鋼構造建築におけるH鋼柱への梁（ビーム）取付けプロセス。それに伴うH鋼ウェーブ面へのケガキ作業を簡略化する、画期的スコヤの登場です。従来の差し金や台付スコヤでは、フランジとウェーブの接するコーナー部のR形状が障害となり、正確なケガキにはかなりの熟練が必要でした。ウェーブスコヤは、この点をベース部分のエンドをR形状に仕上げることで解決。きわめて正確なケガキを誰もが、素早く引くことを可能にしました。さらにスコヤの素材には耐触アルミを使用し、金型成形による、一体構造のボディで表面を硬質アルマイト処理。超軽量（25Rタイプで約1kg）の扱い易さと、高耐久性とを両立しました。進化したスコヤの全く新しいカタチ。「ウェーブスコヤ」がケガキ作業に革命をおこします。

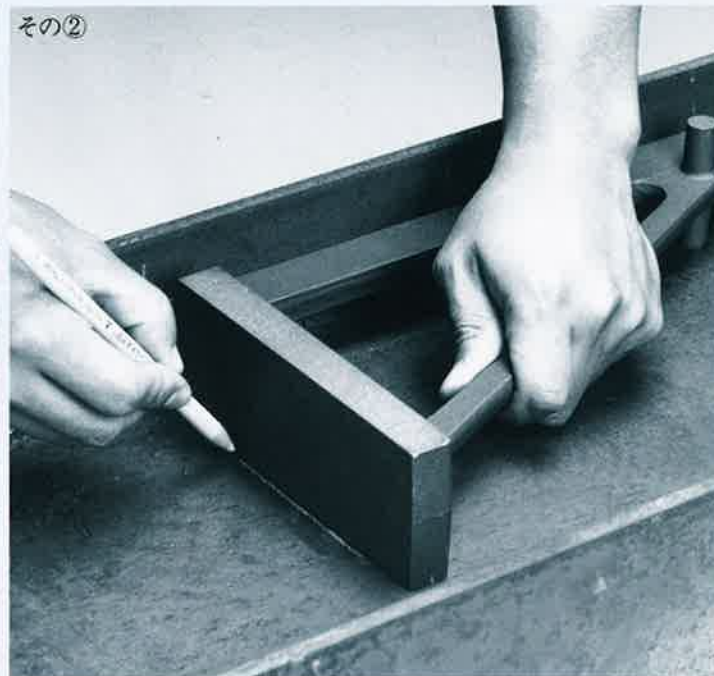
# ウェーブスコヤ タイプ25R・30R

## わずか2挙動！ケガキ作業のスピード化を実現したニュータイプスコヤ

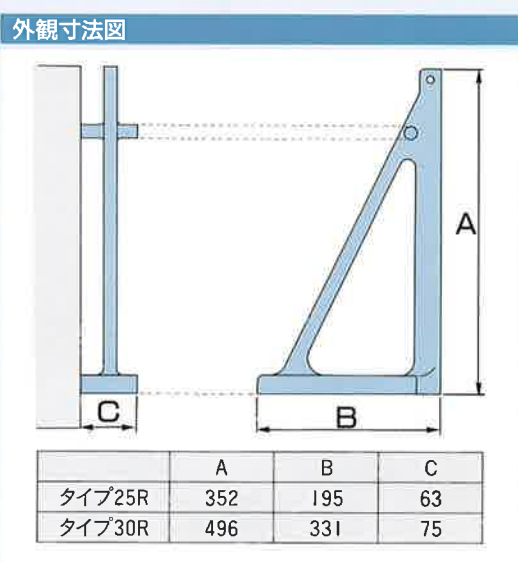
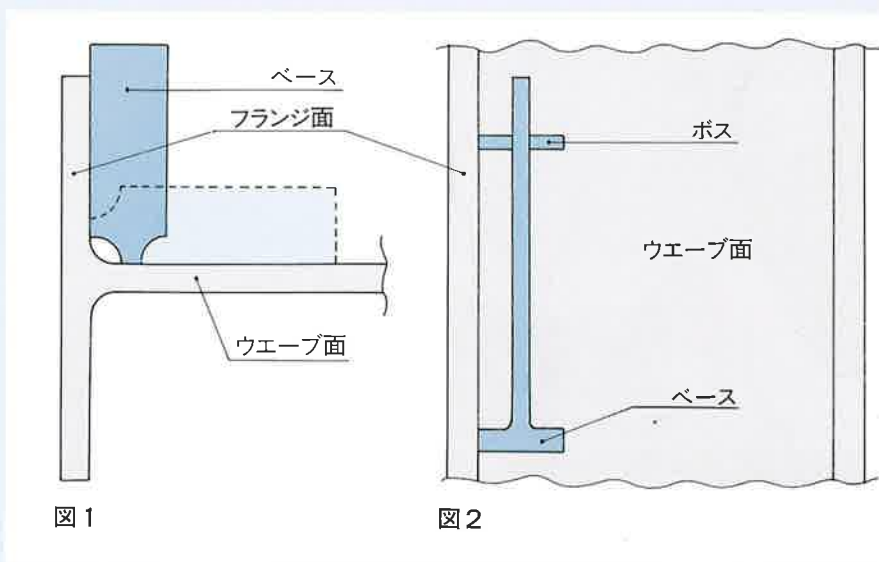
### ■ウェーブスコヤによるケガキ作業プロセス



その① まずフランジ面のケガキからウェーブ面へのケガキ位置を拾います。この時(図1)に示すように、H鋼コーナーのR形状に対し、スコヤのベース部エンドが逆R形状で逃げるカタチとなり、ベース部側面をフランジ面に密着できます。また(図2)のように、スコヤのベース部の張り出しと等長のボスが付いているため、ベース底面とフランジ面を直角に保つことができます。この2つの効果により、正確なケガキ位置と角度を、きわめて簡単に拾うことができる訳です。



その② ウェーブ面にケガキを入れます。スコヤをウェーブ面にねかせ、①でマークしたケガキ位置に合わせてケガキを入れます。この時も①と同じように、ベースとボスが有効に作用して、スコヤをウェーブ面と平行に保ち、より正確なケガキを実現します。



※H鋼のサイズに合わせて、25R、30Rの2タイプを揃えています。

代理店

### 株式会社 中部機販商事

本社 〒422 静岡市 小黒3丁目9-13 TEL054(284)3927  
工場 〒422 静岡市中野新田723-189 TEL054(284)3318  
FAX054(287)5666